

# みんなの新しい



生活者と社会の中に「新しい幸せ」を生み、その幸せをつないで、広げていくこと。これが、博報堂DYグループのCSRの基本理念です。

昨年度、「新しい幸せをつくろう!」のタイトルのもと、当社グループのソーシャルアクションを、そこにかけた社員たちの想いとともにご紹介いたしました。今回は、国際連合で採択された「SDGs\*1(持続可能な開発目標)」の視点から、私たちの取り組みをご紹介します。

日本におけるSDGsの普及、啓発をめざした取り組みに当社グループがご協力申し上げたことが契機となり、2017年10月にSDGsの採択に携わったトーマス・ガス国際連合事務次長補\*2が当社を訪問されました。その折にガス氏から「SDGsの理念である『誰も置き去りにしない』は、御社グループのポリシーである『生活者発想』につながるものがある」との言葉を頂戴いたしました。

\*1 Sustainable Development Goals  
\*2 役職は訪問当時のもの

「生活者発想」とは、人々を「生活する一人ひとり」として深く洞察していくこと。そして「生活者発想」には、「その人にとって、ほんとうに善いことか」という問いかけが極めて重要となります。生活者の集合体こそが社会ですから、この問いかけは、「社会にとって、ほんとうに善いことか」ということでもあります。

生活者一人ひとりが、その集合体である社会が、いきいきと輝く世の中をめざす。これが「生活者発想」の最終的なゴールです。それはまた、「誰も置き去りにしない」というSDGsの理念に通じるものであると思います。

当社グループのもうひとつのポリシー、「パートナー主義」は、クライアント、メディアのビジネスをともに見つけ、語り合い、行動すること。パートナーの成功を私たち自身の成功とする信念とも言えます。相手の立場に立ち、気持ちに寄り添い、いっしょに前に進む、社員全員に根づいた「パートナー主義」の精神もまた、SDGsの確かな推進力になると信じます。

SDGsとは、人と地球の幸せをつくり出す目標。

「誰も置き去りにしない! みんなの新しい幸せをつくろう!」

—お読みいただき、私たちのこの強い想いを感じていただけたなら、幸いです。

1 貧困をなくそう	2 真実をゼロに	3 質の高いAIC健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを増そう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界がめざす17の目標を達成しよう

SDGsは、2015年9月に国際連合で採択された、2030年までの国際社会における共通開発目標です。国際社会が持続可能な開発を実現するための具体的な方針として、貧困、飢餓と食料、水と衛生、教育、ジェンダー、消費と生産、気候変動、生物多様性など17の目標とそのゴールが設定されています。当社グループは、SDGsの普及・啓発を担う国際連合広報センターと協力し、2016年にSDGsの公式日本語版アイコンをクリエイティブ・ボランティアの活動として制作しました。

博報堂DYホールディングス  
代表取締役社長  
博報堂DYグループCSR委員会  
委員長

戸田 裕一